

## 平成23年度 第1回 行政改革推進委員会顛末書

### 1. 月 日

平成23年7月21日(木) 午後1時30分から午後4時30分

### 2. 場 所

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

### 3. 出席者

委員：石渡委員長、北村職務代理者

朝日・小関・篠田・出口・馬場各委員

(欠席：後藤・小林・町元各委員、途中退席：篠田委員)

町：高山・山田・水野・阿部各課長、佐藤補佐、斉藤係長、竹中主任

### 4. 提出資料

- (1) 第1回行政改革推進委員会議案
- (2) 湧別町行政改革推進委員会の附帯意見に対する町の考え方
- (3) 湧別町行政改革実施計画の推進状況
- (4) 湧別町行政改革実施計画書【平成23年7月 一部修正】
- (5) 行政改革推進本部事務局会議ほか会議顛末書

### 5. 会議顛末

(1) 開会(高山課長)

(2) 会長あいさつ(石渡会長)

昨年、時間を掛けて大綱及び実施計画書を協議し答申した。1年間の取り組みの反省評価を行うものであるが、我々の協議した思いが浸透しているか、事務局から説明していただき、協議することになる。

(3) 議案審議

湧別町行政改革推進委員会の附帯意見に対する町の考え方について

資料に基づき、斉藤係長説明

町民との連携・協働について

【主な意見】

自治会活動の活性化

各種会議に出席しているが、自治会の運営に対する風当たりが強いと感じている。今後、どのような方向で進んでいけば良いか、皆様のご意見を伺いたい。

外部の方が自治会に何を求めているのか、自治会に対してどんな不満があるのか、分からない。

公共の領域で自治会が担う役割、仕事が増えていて、自治会長に負担が掛っている現状はある。

町民参加の自治会間の偏りを自治会連合会で協議して、単位自治会でも取り組みを考えては。

自治会連合会も合併している。組織内の連携、情報交換が必要で、会長から役員へ、役員から住民へ情報をどのようにして伝えていくか。協働のまちづくりとは、一人ひとりが参加して初めて成り立つことで、人材の育成のための研修が必要である。

自治会が本来担うべき役割を担ってもらうため、行政として指導すべきで、それらの改革が必要でないか。行政がすべきことと、住民がすべきことの住み分けが必要である。

#### 時代に即した行政サービスの推進

##### 【主な意見】

##### 小規模な保育所・学校の統合

我々の附帯意見に対する学校統合の回答は前向きでない。何もしないと回答しているように思える。

学校や保育所は誰のためのものか、地域との協議とあるが、子ども達のことを考えた議論がされていない。

方向性を示して議論すべきでないか。

##### 公共施設の有効活用

文化センター・さざ波の件は全く進展がなく、施設を利用する住民は不便を感じている。合併協議の中で協議されたことなので、生涯学習課に事務所の件を問い合わせても限界と感じている。

我々の議論した点が理解されていない。我々はホールの使用について議論したのではなく、事務所の問題、利用者の不便さを議論している。

##### 公共施設の管理

施設の管理について、地区会館などは利用する自治会が管理を行っている。体育協会や文化協会などをNPOとして育成して文化センターや体育館を管理してもらえよう議論をすべきでないか。

#### 効率的な行政運営体制の確立

##### 【主な意見】

特になし

#### 健全な行財政運営の確立

##### 【主な意見】

特になし

休憩 午後2時45分から10分間

## 湧別町行政改革実施計画の推進状況について

資料に基づき、斉藤係長説明

町民との連携・協働について

地域づくり懇談会の開催

地域づくり懇談会の開催方法は、両地区で統一されていないのか。

懇談会に人が集まらない理由、集まらないなら、行政・自治会はその対策を考えるべきでないか。

町長が地域の要望を何でも聞くのはいかがなものか。自助、共助と公助の住み分けが必要である。

個人情報の保護

個人情報の保護について、22年度の取り組みで「個人情報取り扱い事務の台帳・・・」とは、誤解を招く表現でないか。(総務課長より内容説明)

時代に即した行政サービスの推進

事務・事業の見直し

22年度に町営バス運行の見直しを行っているが、運行データなどを示して住民と協議し、更なる合理化も検討すべき。

公共施設の管理運営

宮の森センターを建設するようであるが、我々の付帯意見を無視して憤慨する。副町長がトップになった委員会が立ち上げられ、建設に至った経過が何も説明されていない。

地域でも、市街地区4自治会で構成する100%反対意見のない委員会で協議しているようだ。

地域の中には、施設が必要なのかと言う意見もあり、また必要だという意見もある。

建設について協議をした結果や経過を住民に説明すべきである。

健全な財政運営の確立

滞納対策の強化

サービスを制限するなどの対策をとっているが、収納率の向上に寄与しているか。

平成22年度の推進状況の点検・評価

【主な意見】

来年度の評価に当たっては、担当課長、係長に出席してもらい説明を受け、評価する方法もある。我々の答申内容を職員が読んでいないのではないか。そう感じる。

協議したことや答申に反する回答、取り組みの場合は、説明してほしい気持ちはある。

(会長) 点検評価は概ね実施計画どおり推進されているものと判断するが、本日の会議での皆さんの意見を踏まえて、付帯意見を付したいと思いますが、いかがでしょうか。

委員了解

施設の有効活用について、昨年の答申の中では委員会として気を使い具体的な施設名を記載しなかったが、その意図が汲み取られずに対策が何も考慮されていない。文化センター・さざ波の設置目的を踏まえた有効活用を再考願いたい。

推進状況の点検・評価に当たっては、具体的な数字を用いて説明される方が評価しやすいので、具体的な数字を示して欲しい。

NPO法人の育成に取り組み、将来に向かって体育協会や文化協会などのNPO法人化を検討し、法人による施設管理の取り組みを検討されたい。

宮の森センターの建設を例に、施設の建設をはじめ住民生活に関わりの深いことは、結果だけでなく決定に至る経過を広く町民に周知して説明責任を果たすこと。

各種委員会委員の公募を推進している中、一部の委員については今まで公募を行っていないながら、今回の改選では公募を行っていない。大綱に逆行しているので、改善されたい。

(会長) これらの付帯意見については、事務局に精査してもらい町長へ提出するとともに、各委員にも配布させていただきます。

委員了解

推進実施計画書の修正

P 1・個人情報の保護 22年度取り組み

- ・個人情報取扱事務の台帳を作成して、町民に公表します。

実施していない、記載誤り。上記内容は23年度に記載する。

(修正) 個人情報取扱事務の台帳整備と公表の方法を検討しました。

以 上